

# LOOK & LOOK 辰野高校

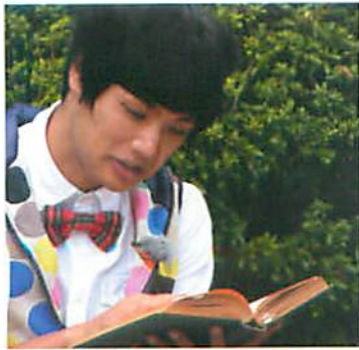
VOL.38  
平成23年11月21日  
新聞委員会  
大久保 田中



辰野高校は、普通科と商業科がある学校！

## タレントの 「もう中学生」来る！

高校時代の小池氏の様子を当時の生徒会誌で見えますと、諏訪から通っていたようです。また、父親のことを厳しい



辰野高校は、平成二十五年で百周年を迎える、長い歴史のある学校です。この間、一万八千人を越える卒業生を数え、中には、日本全国にその業績を知られる人もいます。五十年にわたる超ロングセラーのコイケヤ・ポテトチップスで有名な株式会社湖池屋の創業者、小池和夫氏もその一人です。

小池和夫氏は、日本で初めてポテトチップスを作り、日本全国に広めました。昭和二十年に伊北農商学校（現辰野高校）商業科を卒業。その後上京し、おつまみメーカー「湖池屋」を創業しました。

がとても好きだと書いていて、家族愛に満ちた方でした。残念ながら高校3年生のとき父を亡くし、卒業後は仕事に就いたようです。事業への姿勢は、努力家で勉強家の開発者の一方、楽しい人と当時の従業員の方がおっしゃっています。辰野高校の偉大な先輩を紹介しました。



九月三十日（金）に、テレビでおなじみのタレント、「もう中学生」がテレビ局の方と一緒に辰野高校を訪れました。居合わせた生徒は、握手をしたり携帯のカメラで写真をとったりと、騒然となりました。

「もう中学生」が来校したのは、長野県の有名人をテレビで紹介する番組の取材のためです。

辰野高校の卒業生に、コイケヤ（株式会社湖池屋）の創業者である小池和夫氏があります。テレビでは、当時の従業員の方から日本で初めてポテトチップスを作った時の苦労や、今は亡き小池さん（平成二十年死去）の人柄を紹介しました。辰野高校では、生徒会誌の記事からどんな高校生だったかを取材しました。

### 小池和夫さんに続け！

辰野高校の商業科では、今、松本大学の総合経営学部環境ホスピタリティ学科の学生のみなさんと地域の食材を利用した商品を開発しています。

なんとその商品が、あるコンビニエンスストア（の長野県内のすべての店）で販売することが決定しました。1月中旬から一ヶ月の期間限定ですが、楽しみです。

ヒット商品をたくさん開発した、大先輩の小池和夫さんに続く卒業生が出てくるといいですね。



## コイケヤポテトチップスの

## 小池和夫さんを訪ねて





# 辰高フォーラム2011

災害に備え、地域に貢献する～地域と辰高の安全を考える～  
をテーマに10月21日に開催されました



辰高フォーラムが十月二十一日に開催されました。

今年三月に東日本大震災があり大きな被害を受けました。そこで今年のテーマを「災害に備え地域に貢献する」地域と辰高の安全を考える」とし、町の消防団長さん、教育委員会の方々、地域の皆さんをお迎えし、学校の防災課題や危機管理について生徒や先生方、地域の方々と意見を交わしながら考えました。



**全体会**

**基調報告・シンポジウム**

校内の防災対策と災害時の学校の役割について聞きました

全体会は、まず図書委員長の向山礼奈さんが図書委員会で作成した辰野高校の災害予測地図（ハザードマップ）を紹介し、普段生活している学校の危険箇所を指摘しました。

次に、町消防団の古村幹夫団長さんが、東日本大震災の被災地で目の当たりにした状況を紹介し、災害に備えた準備の大切さを話してくださいました。

続いて行われたシンポジウムでは、笹行夫学校長、生徒会長長坂井征人君、図書委員長の向山さん、古村消防団長がパネリストになり、「辰野高校の防災と災害時の地域貢献」のテーマで意見を交わしました。

全体会を通して、棚など倒れやすいものの固定や避難訓練の方法の見直しなど学校内の防災対策の改善点が見えてきました。また、災害時に避難所になることも考えて、普段から清潔な環境を保持したり、弱い人の立場になって手を差し伸べる心構えを持つことなど地域の中の辰野高校の役割が示されました。



**分科会**

四つのテーマに分かれての意見交換

分科会では参加者全員が、「災害から身を守る」「災害時にできること」「東日本大震災から学ぶ」「学校生活を考える」の四テーマ五会場に分かれて意見交換を行いました。フォーラム全体を通して、防災・減災の意識を高めることができました。

お知らせ

**文化系クラブ合同発表会**

十月三日（土）辰野町民会館で文化系クラブが一年間の練習の成果を発表します。多勢の皆さんのご来場をお待ちしています。